

令和5年度大学・附属学校園連携事業推進経費 成果報告書

<p>所属名</p>	<p>附属特別支援学校</p>
<p>研究課題名</p>	<p>附属特別支援学校におけるGIGAスクール構想を推進するためのICT環境の構築</p>
<p>研究課題概要</p>	<p>2020年12月にWi-Fi環境が整備されてchromebookが導入され、本校教職員の研修も実施して、2021年4月（2021年度）より本格的に整いつつあるICT環境の中で、GIGAスクール構想を進め始めることとなった。その成果と今後の展望については、2022年3月の第10回附属学校園教員と大学教員との研究交流会にて、「附属特別支援学校のICT環境整備についての成果と今後の展望」にて取り組みの成果を報告し、2023年3月の第10回附属学校園教員と大学教員との研究交流会にて、「附属特別支援学校におけるGIGAスクール構想を推進するための環境整備」にて、取り組みの経過を報告している。今回の取り組みは、本校での今までのICT環境整備についての取り組みを踏まえながら、実習生に調査を行い、また他校と比較検証を行いながら、GIGAスクール構想をさらに推進させるためにICT環境を構築することである。</p> <p>教員の業務時間の整理や業務内容の精選が行われる中、短時間研修を職員会議後に短時間10～20分程度を月1回のペースで実施することにより、教員のICT機器についての知識や技能を高めていくことができている。またICT機器が整備収納されている棚を用意し、一目でどのような機器があるのかがわかるだけでなく、使いやすい環境が作られている。さらに機器についての操作方法や活用例等も動画等で示されている専用WEBページで検索して閲覧してから使う前に確認することができただけでなく、専用WEBページを閲覧することにより授業での活用イメージも膨らませることができることにより、GIGAスクール構想を推進させることができていることが明らかとなった。</p> <p>教育実習生に本校のICT環境についてアンケート調査を実施した。その中でも、「問 実習校は、コンピュータやインターネットなどの環境が整備されているか？」については、よくあてはまる100% あてはまる12.5%となり、「問 実習校の教員は、コンピュータやインターネットなどを活用しているか？」については、よくあてはまる100%となり、「問 実習校の教員は、コンピュータやインターネットなどを活用しているか？」については、よくあてはまる100%となり、「問 教育実習が始まってから、コンピュータやインターネットなどを活用して授業を行いたいと思ったか？」については、よくあてはまる68.8% あてはまる25% あまりあてはまらない6.2%となり、「問 担当の指導教員や配属学級の教員らから、授業でコンピュータやインターネットなどを活用することを勧められたか？」については、よくあてはまる68.8% あてはまる12.5% あまりあてはまらない18.8%となり、「問 自身が行った授業において、コンピュータやインターネットなどを効果的に使うことができたか？」については、よくあてはまる50.0% あてはまる42.9% あまりあてはまらない7.1%となり、「問 自身が行った授業において、コンピュータやインターネットなどを活用して授業したことに満足したか？」については、よくあてはまる50.0% あてはまる42.9% あまりあてはまらない7.1%となった。これらのことから本校はICT環境が整備されており、教員と児童生徒がICTを活用していることを確認することができただけでなく、教員や児童生徒の活用している様子を本校の教育実習生が見て、自身が授業を行う際にICTを活用したいという意欲を高められ、活用していたことが確認できた。水守ら（2023）では、「教育実習中にあまりICTを活用することができなかった」とあるが、本校の教育実習生のほとんどがICTを活用しただけでなく、授業において効果的に扱っていたことが明らかとなった。</p>
<p>研究課題の構成員 (リーダーに※)</p>	<p>岩崎 弘(以下附属特別支援学校)※ 小川 香織 本多 克敏 大河 竜介 的場 早紀 尾崎 拓郎(理教情報教育系)</p>